事業番号	275

平成27年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	生涯スポーツ推進事業							担当部	教育委員会事務局	
	会計区分	一般会計		事業類型	実施計画事業				担当課	スポーツ推進課	
	事業期間	平成12年度以前	～	平成31年度以降					担当係	スポーツ推進係	
	総合計画分野別計画 主目的	4 教育文化	14 スポーツ	1 スポーツ活動の機会を充実します							
	総合計画分野別計画 副目的								実施計画対象	○	
	予算区分	款	10	項	6	目	1	大	3	中	1
	根拠法令・個別計画	スポーツ振興計画									
	目的（対象をどの様な状態にするのか）	生涯スポーツを通して体力づくりや健康保持への市民の意識の高揚を図る。									
	内容（手段）	◆26年度実施内容 ・第32回シルバーレクリエーションスポーツ大会 小牧市シルバースポーツ協会の加盟団体並びに老人クラブを中心に高齢者のためのレクリエーションスポーツ大会を10月に開催し、高齢者のスポーツをする機会を提供しました。 ・プロ野球オープン戦の開催 3月2日に中日ドラゴンズ対千葉ロッテマリーンズのプロ野球オープン戦を開催し、3,812人が来場しました。 ・公認スポーツ指導員養成講座 公認スポーツ指導員、スポーツ推進委員をはじめ、すでに職域・地域などで活躍中のスポーツ指導者の資質向上を図るため、2日間で講座を開催し、26人が受講しました。 ・こども夢・チャレンジカップU－12（小牧市長杯）の開催 在日海外クラブチーム等によるジュニアサッカー大会として、「こども夢・チャレンジカップU－12(小牧市長杯)」を開催し、夢に向かって挑戦する子どもたちを応援するとともに、参加チーム間の交流を図りました。 ・JFAこころのプロジェクト「夢の教室」の開催 JFA（公益財団法人日本サッカー協会）と協定を締結し、原則小学5年生を対象に、市内全小学校で「夢の教室」を開催し、夢先生の体験をもとに夢を持つことの大切さ、仲間と協力することの大切さを子どもたちに伝えました。 ◆26年度直接経費の内訳 シルバースポーツ大会開催委託（548千円）、プロ野球オープン戦開催冠料（5,000千円）、講習会講師謝礼（359千円）、こども夢・チャレンジカップU－12（小牧市長杯）開催負担金(1,300千円)、夢の教室開催委託料(6,021千円)、その他消耗品費等（1,954千円） ◆27年度直接経費の内訳 シルバースポーツ大会開催委託（700千円）、プロ野球オープン戦開催冠料（5,000千円）講習会講師謝礼（530千円）、こども夢・チャレンジカップU－12（小牧市長杯）開催負担金(1,000千円)、その他消耗品費等（3,408千円）									
	受益者負担	無									

コスト				単位	H24決算額	H25決算額	H26決算額	H27予算額
	費用	直接経費		千円	7,699	9,572	15,182	10,638
		正職員	従事者数	人	0.20	0.20	0.20	0.20
			人件費	千円	1,052	1,052	1,052	1,052
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計		千円	8,751	10,624	16,234	11,690
		対前年比		%		121.4	152.8	72.0
	財源	一般財源		千円	8,733	10,589	10,819	10,680
		国・県支出金		千円	0	0	0	0
		その他財源		千円	18	35	5,415	1,010

事業番号	275

業績

活動指標名	単位		H24	H25	H26	H27
プロ野球オープン戦	回	目標	1	1	1	1
		実績	1	1	1	
公認スポーツ指導員養成講座	回	目標	1	1	1	1
		実績	1	1	1	
		目標				
		実績				

成果指標名	単位		H24	H25	H26	H27
プロ野球オープン戦	人	目標	6,400	6,400	6,400	6,400
		実績	7,535	3,324	3,812	
公認スポーツ指導員養成講座	人	目標	30	30	30	30
		実績	32	36	26	

事業の自己評価

平成26年度の実施結果	事業の達成状況	プロ野球オープン戦が、平日の開催であったので、入場者数が前年度と比較して同じであるが、目標の6割程度であった。公認スポーツ指導員養成講座は、目標の回数を実施できたが、受講者数は、やや減少した。
	事業実施における課題	公認スポーツ指導員養成講座は、例年2月の土曜日に実施しており、受講し易いように配慮しているが、参加者の確保に苦慮している。また、プロ野球オープン戦の開催が平日であったので、入場者数が目標に達しなかった。
	事業を縮小・廃止したときの影響	県内でもプロ野球が実施できる球場は限られており、プロ野球オープン戦を楽しみにしている方が多い。また、車椅子で直接入れる場所があるため、名古屋ドームまで行けない身体障がい者の方にも大変好評であり、事業を廃止した場合は、プロ野球を球場で見る機会がなくなる。公認スポーツ指導員養成講座は、スポーツ指導員にとって有意義な講習会であり、廃止した場合、指導員としての知識を習得する機会が減り、指導員としての知識を有せず指導にあたる者が増える恐れがある。
平成27年度の改善内容	27年度における事業の改善・見直し内容（新規追加事項、廃止・削減事項等）	プロ野球オープン戦については、平日に開催することを基本として考え、平日であっても入場者数が増えるように、PRに努める。また、「夢の教室」の担当課が、学校教育課に移行する。
平成28年度の事業の方向性	方向性の判定	維　持　／　事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの（対象や手段を見直す場合も含む）
	判定理由	プロ野球オープン戦の誘致は市民に対して好評であるが、近年、地方球場でオープン戦を開催することが減少しているので、事業が継続されるようにドラゴンズ側と交渉する。公認スポーツ指導員養成講座は、スポーツの指導者を目指す方にとって専門知識を取得する講座でもあり、正しくスポーツ指導をしていただくためにも、今後も継続する。
	28年度以降の改善案	子どもの夢を応援する事業として、こども夢・チャレンジカップU－12（小牧市長杯）を開催しているので、事業の認知度を高めるため、PRに努める。 プロ野球オープン戦については、ドラゴンズと交渉して、引き続き開催ができるようにするとともに、来場者増に向けPRに努める。

二次評価

方向性の判定	判　定　理　由
維　持	一次評価のとおり。